

⑩ベーカリーカフェレンガ

旧金谷レース工業(株)工場・事務所【国登録有形文化財】

大正8年に建築された桐生に現存する唯一のレンガ造のノコギリ屋根工場です。レンガ壁はイギリス積みです。事務所棟は、昭和6年に建築され、木造二階建てスクラッチタイル張り、窓や細部に至る意匠に昭和初期の洋風建築の特徴が見られます。二つを比較してみると、大正・昭和、各時代の流行の違いがよく分かります。

⑪旧斎憲テキスタイル工場

昭和2年に建築された、大谷石造のノコギリ屋根工場です。



⑫旧住善織物工場

大正11年に建築された、桐生に現存する唯一の鉄筋コンクリート造のノコギリ屋根工場です。現在は、5人の作家(岡・金原・田中・平田・丸山)の一字ずつを組み合わせ命名した、「工房・金田丸岡平」として利用されています。



⑬一の湯

一の湯は、当初隣接する織物工場で働く従業員のために浴場として建築され、近隣住民にも利用されていました。現在も市内に数少ない銭湯として営業しており、内部の風情豊かな空間は地域に愛されています。

⑭平田邸【国登録有形文化財】

大正3年(袖蔵は明治33年)に建築された建物で、この地域では平田邸と玉上薬局の2件だけのめずらしい蔵造りの店です。しっくい仕上げの壁と重厚な扉が美しさをいっそう引き立てています。

⑮玉上薬局(国仁誠堂)

文化3年(1804)に建てられたと伝えられており、妻入りのえびす造りの店は、現存する幕末の町屋として貴重な建物で、建物とともに江戸時代から続く薬種商です。

⑯有鄰館(旧矢野蔵群)

【市指定重要文化財】

⑰矢野本店店舗及び店蔵

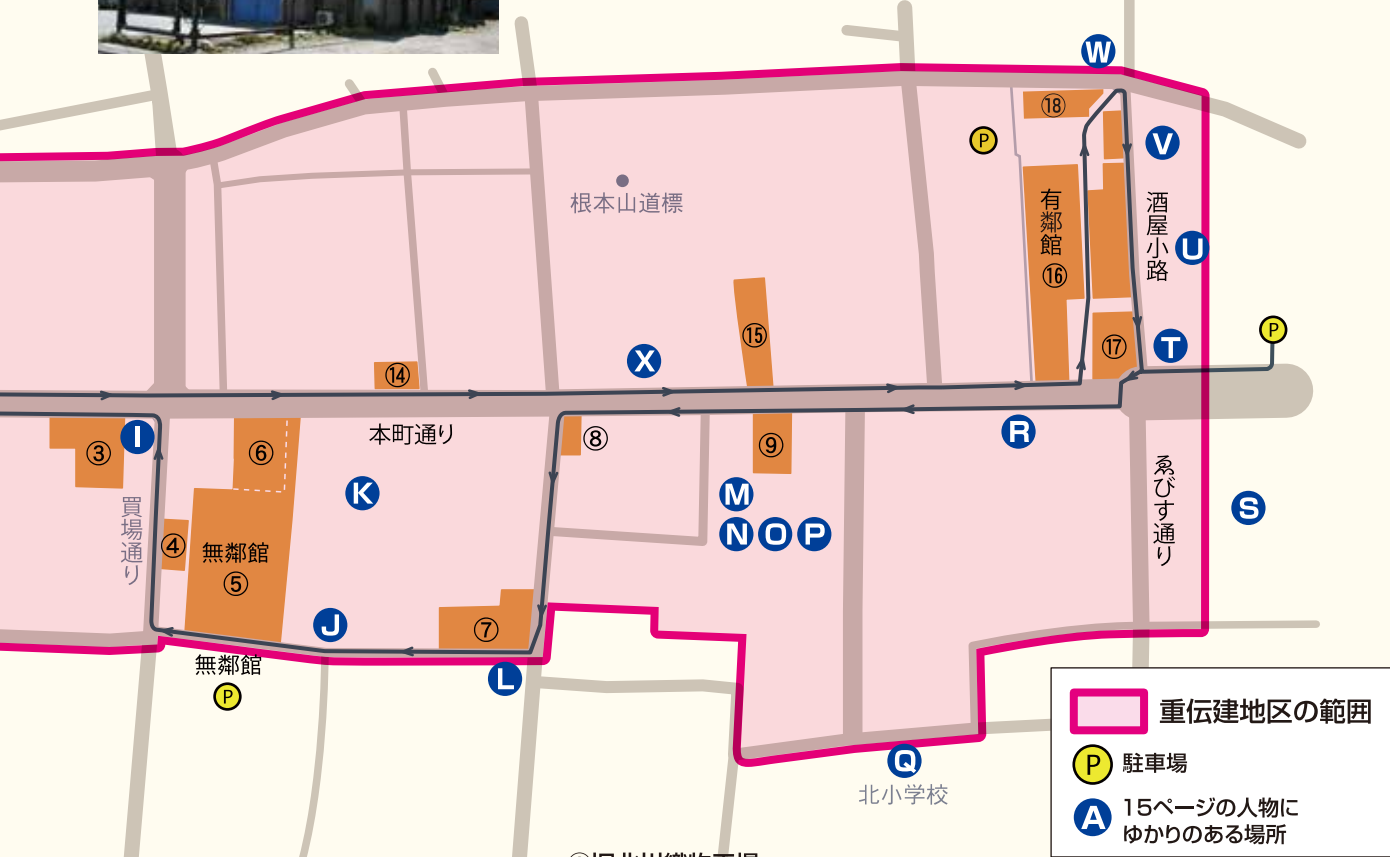
【市指定重要文化財】



二代目矢野久左衛門が寛延2年(1749)現在地に店舗を構えて以来、桐生の商業に大きく寄与してきた土蔵等建物群です。現存する土蔵やレンガ蔵は、酒類・味噌・醤油などの醸造を行ってきたところで、江戸から大正期に建築されました。

⑱桐生からくり人形芝居館

明治から昭和時代、桐生天満宮御開帳で上演されました。日本芸能史を物語る貴重な文化遺産です。



⑤旧北川織物工場(無鄰館)

【国登録有形文化財】

敷地内の建物群は大正時代を中心に建築されたもので、ノコギリ屋根工場をはじめ、主屋、土蔵等が奥行き40間の地割の中に良好に残されています。北東側には、焼失した寄宿舎の防火壁とされていたレンガ耐火塙が今も残っています。現在はアーチストファクトリーとして活用されています。



⑥旧北川織物工場

このノコギリ屋根工場は無鄰館とともに旧北川織物工場でした。このノコギリ屋根工場の特徴は、採光面を南東に向けて建てられていることです。ノコギリ屋根工場は均一な自然光を取り入れるために北側に向けて建てることにその価値と特徴があるわけですが、この建物はその価値を逸脱している点で、市内でも珍しいノコギリ屋根工場です。

⑦旧曾我織物新工場【国登録有形文化財】

大正11年に建築された、大谷石造のノコギリ屋根工場です。北西方向に採光面を設け、通風用の丸窓飾りが特徴です。

⑧旧書上酒店(大風呂敷)

明治後期に建てられた旧書上酒店を1997年に同店に残っていた写真を元に再生した建物で、カフェとして活用されています。

⑨旧書上商店(花のにしはら)

明治期の桐生を代表する買継商「書上文左衛門」の商店店舗です。書上商店は、明治25年に横浜に支店をつくり、織物輸出業を開始、明治39年には上海へも出店しています。この建物の北西周辺にある蔵群は、かつては同商店のものであり、この一画で昭和27年から30年まで作家坂口安吾が生活をし、この地でその生涯を終えました。